

宇品西地区

津波被害の対策

(避難に対しての考え方)

宇品西地区自主防災会連合会

副会長 防災士 横山 稔

津波での人的被害を 無くすために

1. 宇品西地区の地形（高低差の確認）
2. 津波最高潮位の確認
3. 避難施設の確認・見直し
4. 避難方法の検討
5. 今後の課題と取組み

宇品西地区の土地環境の確認

【広島市】

- ・ 大田川の河口

【宇品御幸】

- ・ 古い町並、干拓地

【宇品西地区】

- ・ 広島市南部の埋立地
- ・ 広島湾に面し四国方面島しょ部への海の玄関口
- ・ 中四国一のコンテナヤード
- ・ 工業団地、商業施設多、高層マンション



宇品西地区、土地の高低差

【宇品西地区】

南北約 3 km 東西約 2 km

宇品西

海拔：+2.4m

宇品御幸

海拔：-0.2~-0.4m

宇品海岸

海拔：+1.0m~+1.2m



宇品西と宇品御幸の
高低差（最大2.8m）



宇品御幸、宇品海岸の住民は、
宇品西への避難が最善と考えられる。

津波最高潮位（予想潮位）・施設確認

- ・満潮面（海拔+2.0m）干潮面（海拔-1.8m位）
- ・予測津波の高さ（海拔+3.6m程）
- ・計画護岸高さ（海拔+4.66m）

※台風時の高潮最高潮位（海拔+4.32m）を基に設定



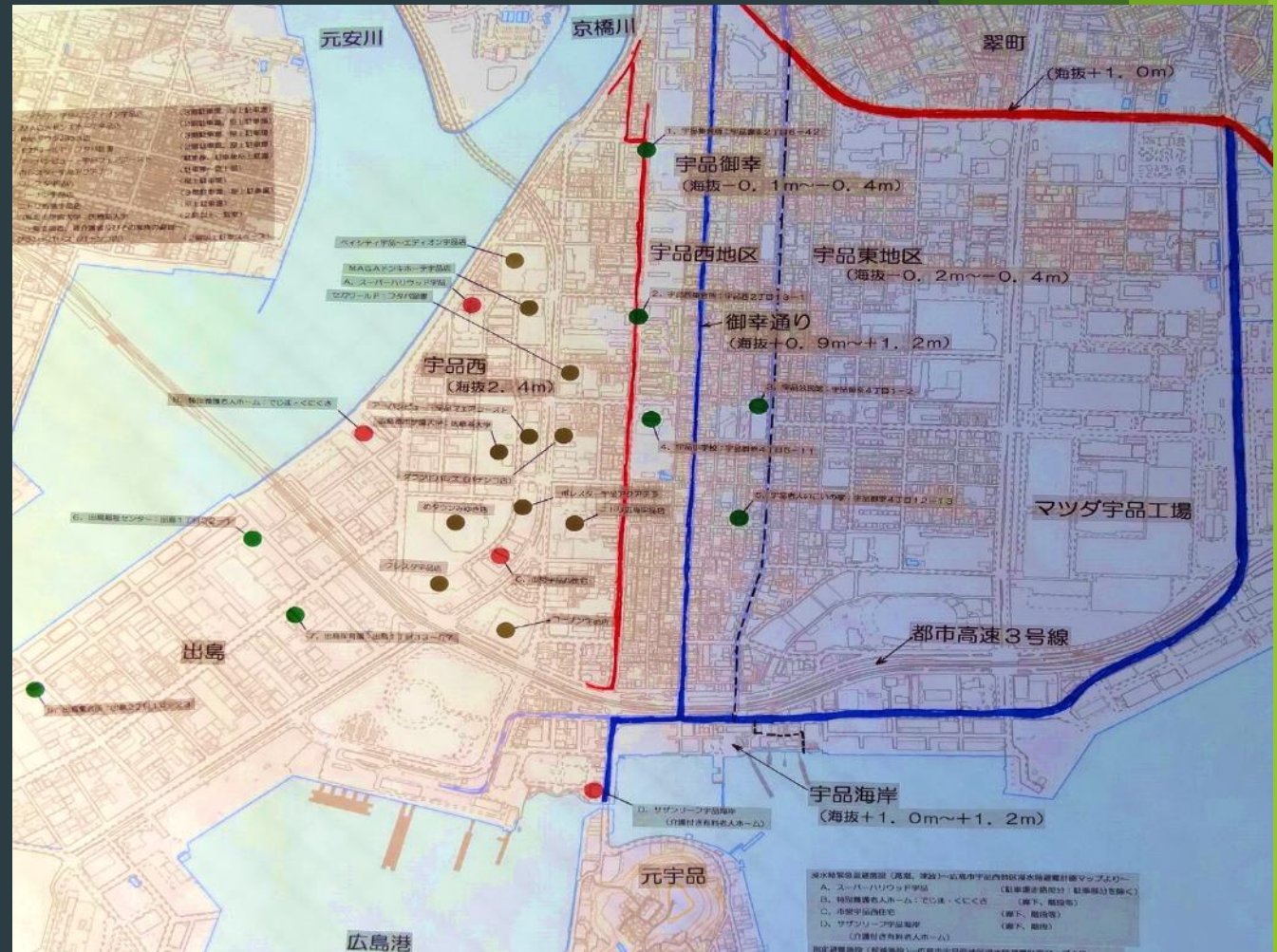
防潮機能が十分発揮出来れば、安全性は高い

※南海トラフ巨大地震

津波到達時間：216分位

津波影響開始時間：37分位

避難施設の確認



避難施設の課題・解決方法

指定避難施設⇒市が開設

発災時に災害の種類、規模によって避難施設を決める

課題：どの施設が津波避難施設が平時に把握できず

早期の避難が不可能・・・



- 宇品西の商業施設他、11施設を
浸水時緊急退避施設候補としてリストアップ®

避難方法について検討

- ・ 宇品西地区社会福祉協議会（自主防災連会）
32町内会（自主防災会）+ 各種団体によって組織

【検討した避難方法】

- ・ 避難施設を決定（町内会単位）
避難施設に避難する人、自宅待機する人の確認

※安否確認を素早く実施するため。

- ・ 避難場所確定後、避難訓練の計画・実施を検討中



今後の検討事項

- ・ 避難方法の検討会出席者

現在...各町内会の会長及び防災担当

今後...各町内会で避難方法の検討を進める。

- ・ 要支援者、町内会未加入者に対しての対応
- ・ 平時における各家庭の防災対策の充実
- ・ 宇品海岸住民の緊急退避施設として、都市高速道路3号線を設定



- ・ 既設のマンションへの避難
- ・ 避難施設として、公園等への施設建設の可能性

おわりに

私は、防災士として災害から1人でも多くの命が救われることを目標に活動が続けていきたいと思っております。

地域の皆さんと一緒に防災の視点から宇品西地区を『安全、安心』な地域とするため努力したいと考えております。

ご清聴ありがとうございました